

## 9. 災害医療

### 「災害医療」の概要

#### ■ 現状と課題

##### 《現状》

- 災害拠点病院、災害支援病院については、耐震化や高速衛星通信設備の設置等ハード面、DMATチーム数、ローカルDMATチーム数等のソフト面ともに整備が進んでいる。
- 自家発電機の燃料備蓄（3日分）について、災害支援病院では3日分の燃料を備蓄できていない病院が半数以上。
- 業務継続計画（BCP）の策定については、災害拠点病院での策定は完了しているが、計画目標病院（浸水想定区域内病院）は策定できていない病院が多い。
- 広域災害・救急医療情報システム（EMIS）に平時から入力しておく必要がある項目（自家発電機の給油口の規格等）の入力率が低い。

##### 《課題》

① 災害時における  
病院機能の維持

② 災害医療調整本部  
等の受援体制の強化

③ 発災直後から安定期  
までの切れ目ない対応

#### ■ 圏域設定

7圏域：和歌山、那賀、橋本、有田、御坊、田辺、新宮

#### ■ 主な施策の方向

##### ① 災害時における病院機能の維持

- 補助事業を活用した病院の耐震化推進
- 災害支援病院の自家発電機の燃料備蓄等の推進
- ローカルDMAT養成研修の実施
- DMATや関係団体と協力し、EMISの基本情報の入力率向上

##### ② 災害医療調整本部等受援体制の強化

- 災害支援チームの受入を想定した災害訓練を各医療圏で実施
- 災害医療コーディネーターの増員
- 災害支援病院の訓練参加の推進

##### ③ 発災直後から安定期までの切れ目ない対応

- 病院による業務継続計画（BCP）の策定推進

#### ■ 主な数値目標（令和11年度）

① 病院の耐震化率  
令和4年 72.3%  
→ 80%

② 災害支援チームの受入を想定  
した災害訓練の実施箇所数  
令和4年 2ヶ所  
→ 9ヶ所

③ 業務継続計画策定病院数  
令和4年 21病院  
→ 41病院

ナの活用について検討します。

### 数値目標の設定と考え方

#### (1) 災害時における病院機能の維持

項目	現状	目標(令和11年度)	設定の考え方
病院の耐震化率	72.3% (令和4年度)	80%	全救急告示病院を耐震化

#### (2) 災害医療調整本部等の受援体制の強化

項目	現状	目標(令和11年度)	設定の考え
保健医療活動チームの受入を想定した災害訓練の実施箇所数	2ヶ所 (令和4年度)	9ヶ所	本庁及び保健所管轄区域での実施

#### (3) 発災直後から安定期までの切れ目ない対応

項目	現状	目標(令和11年度)	設定の考え方
業務継続計画策定病院数	21病院 (令和4年)	41病院	災害拠点病院及び巨大地震発生時浸水想定病院

### 目標設定における第七次計画からの変更点

- 第七次保健医療計画で設定した保健所及び災害拠点病院間での無線整備箇所数の数値目標については、全ての保健所管轄区域で完了しているので、今計画の目標項目に盛り込まないことにしました。